

令和2年7月教育委員会定例会議 議事録

開会日時 令和2年7月22日（水） 午後3時00分

閉会日時 令和2年7月22日（水） 午後4時02分

場 所 岡崎市役所東庁舎2階大会議室

出席者 教育長 安藤 直哉

教育委員 小出 義信 福應 謙一 上原 三十三 岡田 京子

説明のため出席した職員

小野教育部長 加藤教育監 鍋田教育部次長兼総務課長 二村教育部次長兼施設課長
太田学校指導課長 安藤教育相談センター所長 中村教育部次長兼社会教育課長
三宅中央図書館長 宮本総務課副課長

議事録指定職員

保田総務課総務企画係係長 猪飼総務課主査

日程

日程第1 その他

- (1) 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について
- (2) 岡崎市少年愛護センター運営委員の委嘱について

日程第2 承認第4号

議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について

日程第3 第12号議案

教科用図書採択地区について

日程第4 第13号議案

教科用図書の採択について

（議題等及び議事の要旨）

安藤教育長

審議に入る前に、本日の議題のうち日程第3、第12号議案「教科用図書採択地区について」及び日程第4、第13号議案「教科用図書の採択について」は、「教育委員会会議規則」第8条第1項第4号の規定により、秘密会として審議することを発議し、これに賛

成の委員の挙手を求める。

挙手（全員）

安藤教育長

秘密会として審議することを決定

■日程第1 その他

(1) 岡崎市図書館協議会委員の委嘱について

中央図書館長

議案書等により説明

安藤教育長

質疑を許可

(質疑なし)

(2) 岡崎市少年愛護センター運営委員の委嘱について

社会教育課長

議案書等により説明

安藤教育長

質疑を許可

(質疑なし)

■日程第2 承認第4号

議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について

総務課長

議案書等により説明

安藤教育長

質疑を許可

(質疑なし)

安藤教育長

承認第4号「議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出の臨時代理について」の承認（挙手を求める）

挙手（全員）

安藤教育長

原案のとおり承認することを宣言

■日程第3 第12号議案

教科用図書採択地区について

(秘密会)

■日程第4 第13号議案

教科用図書の採択について

(秘密会)

(※教科用図書の発行者名は、別添の略称表を参照してください。)

安藤教育長

第13号議案については、上原委員が地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定に該当し、この審議に参加することができないため退室を求める。

(上原委員退室)

学校指導課長

議案書等により概要説明

安藤教育長

小学校の教科書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定に基づき、令和元年度と同一の教科書を採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

小学校の教科書について、協議会が選定した令和元年度と同一の教科書を採択することを宣言。

安藤教育長

中学校の教科書について、種目名ごとに協議を行うことを説明。国語の教科書について、西三河教科用図書採択地区協議会（以下、「協議会」と言う。）が選定した教科書は、光村図書であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

光村図書は「学習」というページがあり、「見通しをもつ」→「捉える」→「読み深める」→「考えをもつ」→「振り返る」というように、教材との出会いから、振り返りまでの学習計画が見やすくまとめられている。それにより、生徒が学習に対して見通しをもつことができることから、主体的な学びへとつながる。さらに下段には「学習の窓」として、その教材に取り組むヒントとなるポイントが示されており、自ら学習を進める上でもたいへん効果的である。三省堂も「学びの道しるべ」として同様のものがあるが、内容、構成において光村図書が優れていると思われる。このような観点から光村図書がよいと思う。

委員

学習目標という観点でみると、光村図書の学習目標が、国語科としての付けたい力が明確であり、より高い目標になっている。例えば、短歌の教材は、全ての教科書に取り上げられている。その学習目標の文末を比較してみると、教育出版は「声に出して読む」、東京書籍、三省堂は「読み味わう」となっている。それに対して光村図書は「読み深める」となっている。光村図書の短歌の学習では、短歌を読んだり、味わったりするだけではなく、既習の知識や経験と結び付けて読み深めることを目標にしている。そこも光村図書の教科書のよさであると思う。以上のことから、光村図書が適していると考えます。

安藤教育長

国語の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

国語の教科書について、光村図書を採択することを宣言。

安藤教育長

書写の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

東京書籍は、「書写のかぎ」として、それまでに学習したことを系統的に示し、学習した内容や技能を想起できるように紙面が工夫されている。これにより、課題文字を上手に書きたいという生徒の思いと、身に着けてきた技能とをつなぐことができ、イメージをもって授業に臨むことができる。また、硬筆での書き込みができるようになっており、毛筆での学びを硬筆に生かすことができる。生活に生かすアイデアも豊富で、毛筆に留まらない学びができる。教育出版も大判で、文字が大きく、技能的なポイントを効果的に示していると思う。しかし、系統的な学びを自覚できるような示し方はされていない。この点では東京書籍の方が優れていると思う。光村図書もよく考えられているが、教科書の中に書き込めるスペースが少なく、硬筆の指導では別途ワークシート等を準備する必要がある。東京書籍は教科書に硬筆で書き込む部分も確保されており、教科書を活用しながら学習を進めることができる。そうした点からも、東京書籍がよいと思う。

委員

教育出版も朱墨を効果的に用い、穂先の動きがよくわかるように編集されている。また、東京書籍と同様、毛筆での学びが硬筆に生きるように構成されているところがよいと思う。教科書に書き込むことも可能である。しかし、東京書籍に比べると、硬筆での書き込み部分が少なく、もう少し書き込みができるとうよいと思う。生活に生かすという面で、硬筆での活用がさらにできるとよいと思う。その点で、東京書籍の方がよいと思う。三省堂の教科書は色遣いがきれいで目を引くが、硬筆の練習スペースが少ないのと、毛筆の筆づかいが他の教科書よりも丁寧さに欠ける印象である。他の教科書が全ての課題文字の運筆動画を用意しているのに対し、一部しか用意されていない。よって東京書籍がよいと思う。

安藤教育長

書写の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

書写の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

社会【地理的分野】の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

地理学習では、地図や主題図、各種統計を読み取り、地域の特質や関わり、現代的な課題などを考察する活動が重要である。その点で、東京書籍は、単元の終末に「探究のステップ」「もっと地理」「資料から発見！」といったコラムや課題提示が設けられており、地図や統計の読み取りを通じて、学習者が学びを深められるよう

な構成になっている。例えば、「アフリカ州」の学習では、「情報化がアフリカ社会を変える」という話題が提供され、携帯電話の普及からアフリカ州の社会の変化の様子を読み取る学習ができるようになっている。このように、子供たちが関心をもって探究活動に取り組める教科書として、東京書籍を推薦したいと思う。

委員

帝国書院は、地図に強みを持っている会社だけに、教科書に様々な地図や主題図が掲載されていて、地図を生かした学習が充実している。また、用語解説がたくさん掲載されていて、学習者が参考にしやすいことも長所である。ただし、「学び方を学ぶ」という面では、仕掛けが少ないと感じる。その点では、東京書籍の方が、ものの見方・考え方を養うためのコーナーが充実していて、学ぶための視点を与える工夫が随所にある。内容面を含めた総合評価としては、東京書籍を薦めたいと考える。

安藤教育長

社会【地理的分野】の教科書について、協議会が選定した教科書案とおりに採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

社会【地理的分野】の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

社会【歴史的分野】の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

歴史学習では、歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を養うことが重要である。東京書籍では、単元を貫く「探究課題」と、それを補助するため各節に「探究のステップ」を設けて、課題解決的な単元構成で、主体的な学びが深められる構成になっている。このように各節にも課題を設ける構成になっている教科書は、東京書籍以外に教育出版社がある。比較すると、東京書籍は、各章に設けられた節の一部を除いてほとんど全てに「なぜ」という語句で「探究のステップ」を設け、子供が主体的・対話的に探究しようとする課題解決学習の構成を貫いている。そうしたことから、東京書籍がよいと思う。

委員

どの教科書も、東京書籍同様に見開きに年表が分かる資料が用いられている。しかし、年表の表現が見開きの右端縦の時間軸や本文中央にまとめられており、表現も淡白で分かりにくく感じた。その点、東京書籍では、見開きの左下に時間軸を感覚的に感じやすい横軸にまとめており、現在自分がどの時代の学習をしているか一目で分かる。さらに東京書籍は、歴史の見方・考え方で取り上げられている資料を「比較」、「相互に関連させる」という意識が高く、各種資料を関連させ多面的・多角的な思考を促すことが

できる。こうしたきめ細かな配慮において東京書籍が適していると思う。

安藤教育長

社会【歴史的分野】の教科書について、協議会が選定した教科書案とおりに採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

社会【歴史的分野】の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

社会【公民的分野】の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

東京書籍がよいと思う。東京書籍は新学習指導要領によって作られている中で、主体的・対話的で深い学びの具現に向け、小集団での参加型学習を授業の中で適宜取り入れて、子供たちの対話活動を促す「みんなでチャレンジ」というコーナーが、1単位時間の学習や「導入の活動」「まとめの活動」などに、豊富に用意されている。こうした対話的な学習の場面により、生徒たちが他者との協働を通じて、思考力・判断力・表現力を高めることができる構成となっている点がよいと考える。

委員

公民の学習では、「効率と公正」「民主主義」「分業と交換」といった現代社会の見方や考え方をしっかりと捉えて学習を進めることが、深い思考・判断を導くうえで重要だと考える。東京書籍の教科書では、各単元の学習で、様式図やイラストを用いて視覚的にわかりやすく、学習の着目点が示されている。また、公民分野の学習に必要な「見方・考え方」が意識できるように、特別コーナーを設ける手法はどの教科書会社のものでも見られるが、東京書籍の教科書にはこうした「見方・考え方」というコーナーが60か所設定されており、提示される問いについて思案、思考することで、現代社会に対する見方や考え方の概念の理解が、深められるような構成となっている。東京書籍を薦めたい。

安藤教育長

社会【公民的分野】の教科書について、協議会が選定した教科書案とおりに採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

社会【公民的分野】の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

地図の教科書について、協議会が選定した教科書は、帝国書院であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

空間の広がりの中で社会的事象が捉えられるように、地図帳では地形図に絵や記号等を使って情報を重ねることがある。両社の地図帳とも工夫を凝らして紙面が構成されているが、帝国書院の地

図は、例えば岡崎の特産物のみそが樽の絵で表現されているなど、一つ一つが丁寧に表現されている。岡崎の八丁味噌は、樽で熟成するのが製法の大きな特徴であるので、こうした部分が表現できている帝国書院の地図帳は、子供たちに正しい社会認識を育むうえで評価することができると思う。

委員

帝国書院と東京書籍の地図の一番大きな違いは、本の大きさです。東京書籍の地図は、他の教科書と同じ大きさなので持ち運びには都合がよいと思うが、帝国書院の地図と比較するとサイズが小さくなっている。地方を表す地図などは、どちらの地図帳も同じ縮尺で描かれているので、少しでも紙面が大きい方がより広い範囲を考察できる。例えば都道府県が集まる中部地方などで比較すると、帝国書院の地図帳の方が、端にある都道府県の形までわかりやすく表現されているかと思う。

安藤教育長

地図の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

地図の教科書について、帝国書院を採択することを宣言。

安藤教育長

数学の教科書について、協議会が選定した教科書は、啓林館であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

啓林館の教科書は、前の表紙から開くと「みんなで学ぼう編」、裏表紙から開くと横向きに置き変えて、「自分から学ぼう編」となっている。「みんなで学ぼう編」では、学校の授業の中で、生徒同士が、みんなで考えたり、話し合ったり、問題に取り組んだりできるようになっている。「自分から学ぼう編」では、「学びのあしあと」として、自分自身の学びの記録を残していけるほか、「学びをいかそう」として、自分が学んだことがらを身の回りで利用したり、さらに深めたりすることができるような題材にふれることができる。学校の授業の中での学びだけでなく、個人での学びをより意識したこのような構成は、他社の教科書にはないものである。全ての教科書には、単元を学んだあとに「章末問題」が掲載されている。既習内容を確認したり、複数の問題を解答することで学力の定着につなげたりするという点で非常に重要である。啓林館の教科書は、他社同様に問題が掲載されていますが、それぞれの問題の横には、その問題が既習内容のどの学習に関連しているかがはっきり示されている。問題が解けなかったり、誤解答してしまったりした際に、教科書のどのページのどの学習を復習すればよいのかがよくわかる。その点で、非常に優れていると感じる。

委員

安藤教育長

数学の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長	数学の教科書について、啓林館を採択することを宣言。
安藤教育長	理科の教科書について、協議会が選定した教科書は、大日本図書であることを説明し、委員の意見を求める。
委員	大日本図書は、単元の導入において、ホットケーキや陶器、カツオのわら焼きなどの写真を示し、身近な事物・現象から問題を発見できるよう工夫されている。特に、質量保存の導入では、同じ燃焼でも質量が大きくなるものと小さくなるものを比べ、子供の心を揺さぶるような実験が紹介されている。問題の設定の過程で、子供の問題意識を大切にされた構成になっている。また、教科書の流れに沿って学んでいくことで、問題解決的な学習の過程を自然に身に付けることができるようになってきている。特に、「解決する方法を立案し、その結果を分析して解決する」等、各学年で身に付けるべき問題解決の能力を習得できるよう工夫されている。このような点において、大日本図書の教科書が適していると思う。
委員	QRコードを読み込むと、ウェブサイトを活用することができるようになってきている。実験器具の操作方法を動画で説明するなど、基本操作を確実に身に付けられるように工夫されている。さらに気象庁等、学習内容に関連した機関のホームページとリンクしていたり、自由研究の進め方が詳しく紹介されている。内容も充実している点がよいと思う。
安藤教育長	理科の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。
	挙手（全員）
安藤教育長	理科の教科書について、大日本図書を採択することを宣言。
安藤教育長	音楽【一般】の教科書について、協議会が選定した教科書は、教育芸術社であることを説明し、委員の意見を求める。
委員	教育芸術社では、「歌唱・器楽・創作・鑑賞」の各領域と、新学習指導要領で示された、育成を目指す資質・能力との相関が整理され、1年間の学びが俯瞰できるよう、図示されている。また、楽曲ごとに、どの【共通事項】について重点的に学ぶのかも、明示されている。これにより、子供も指導者も、各領域において、何を重点的に学び、どのような資質や能力を身に付けていったらよいかを明確にして授業に取り組むことができる。また、新しく学習する記号や用語については、どちらの教科書も、教材ごとに示されているが、教育芸術社はインデックス形式で表示されるとともに、楽典のページと容易に対応させて調べることができるようになってきている。こうした配慮や構成のよさから、教育芸術社がよいと考える。

委員

教育芸術社は、学習のポイントやヒント、子供に考えさせたい視点などが、意見を交換し合う様子を示したキャラクターの吹き出しによって示されている。これにより、主体的で対話的な学びに結びつけることができる。また、鑑賞のページは、曲のイメージを方向づけるようなイラストや写真がなく、子供自身の感受により、音楽に向き合えるようになっている。こうした工夫は、歌を歌ったり、音楽を創作したりする技術を身に付けるだけでなく、学びの質を高めたり、協働的に学ぶ姿を引き出したりする上でも有効と考える。こうした点から、教育芸術社がよいと考える。

安藤教育長

音楽【一般】の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

音楽【一般】の教科書について、教育芸術社を採択することを宣言。

安藤教育長

音楽【器楽合奏】の教科書について、協議会が選定した教科書は、教育出版であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

両発行者とも、リコーダーの学習について、アルトリコーダーと、小学校で扱うソプラノリコーダーのどちらを用いても展開できるようになっている。しかし教育出版は、共通する運指表や楽譜が併せて掲載され、練習曲ごとにそれぞれの楽器を対比させながら学習に取り組むことができる。また、見開きごとに学びのねらいが示されており、ゴールとなる曲までがユニット構成で設定されている。楽器の演奏は、系統的な学びを積み重ねたり、習得までに十分な時間を確保したりすることが求められるが、このような支援により、計画的・効果的な学びにつなげることができる。

委員

器楽指導は、実際に楽器の音色を聴いたり、演奏の様子を見たりすることがとても重要だと思う。教育出版は、演奏の様子や、手元、口元のアップなど、さまざまな角度からの写真が数多く掲載されており、子供の理解につながる。また、ウェブサイトが充実しており、学習に役立つ情報を豊富に得ることができる。情報の種類については、「見る」「聴く」「記録する」の3種類があり、演奏家による模範演奏の視聴、具体的な演奏方法の確認、演奏と響きの関係についての考察支援、ワークシートの表示・印刷など、多彩な活用ができる。このようなさまざまなコンテンツは、家庭学習においても効果的に働くと考える。さらに、指導する先生方にとっても、専門以外の楽器について指導する際の指導補助となる。学習者と指導者の双方にとって、学習を進めていきやすい、教育出版の教科書を推薦する。

安藤教育長	音楽【器楽合奏】の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。 挙手（全員）
安藤教育長	音楽【器楽合奏】の教科書について、教育出版を採択することを宣言。
安藤教育長	美術の教科書について、協議会が選定した教科書は、光村図書であることを説明し、委員の意見を求める。
委員	光村図書は他の教科書と違い、授業の流れを意識したページ構成になっている。まず、有名な作品や魅力ある作品を鑑賞することから始まり、作り手の思い等に触れながら、子供たちが表現に向かうためのイメージを明確に持てるようにしている。そして、表現に向かうための発想、構想づくり、技法的な説明、最後に相互鑑賞等の内容になっている。例えば、1年生の教科書22ページからは、「心ひかれるこの風景」として、風景画の制作が掲載されています。そこにはモネの作品が鑑賞作品として掲載され、作品の魅力等を共有するための鑑賞の授業からスタートしている。そして、次のページには、風景の切り取り方等の説明があり、発想や構想を練るためのページとなっている。色の使い方などの技法的な説明は次のページに書いてある。そのように、完成作品の鑑賞方法について順次掲載されている。このような構成により、生徒たちは何を学ぶかが明確になり、授業者も教科書を活用した授業構想がしやすくなると思う。
委員	どの教科書にもQRコードが掲載されているが、光村図書は、他の教科書よりも多くのQRコードが掲載されている。また、何を示したQRコードなのか簡単に説明されているため、必要な時にQRコードの活用ができるようになっている。内容は、同じ題材の生徒作品例えば立体作品は360°から見るのが可能となっている。このような仕組みは他の出版社もあるが、有名な作品の解説、映像分野は動画による視聴等、多岐に渡り利用しやすくなっている。3年間で2冊の構成だが、掲載資料は精選されており、関連資料はQRコードの対応となっており優れていると思う。
安藤教育長	美術の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。 挙手（全員）
安藤教育長	美術の教科書について、光村図書を採択することを宣言。
安藤教育長	保健体育の教科書について、協議会が選定した教科書は、大日本図書であることを説明し、委員の意見を求める。
委員	大日本図書では、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」という3つの活動を学習の中心とし、本文の内容や知識

を身につけることができる。その上で「活用して深めよう」という部分では、これまで学習した知識をもとに、生活の中で活用できる実践的な力を身につけられるよう配慮されている。また、個に応じて学習内容をより深めることができるように「ミニ知識」や「発展」「トピックス」といった読み物や資料等が充実している。さらに「心の健康」についても丁寧に扱われているとともに、相談窓口も大きく取り上げながら紹介されている。思春期を迎えている子供たちには大切な情報である。このように学びや成長の段階に応じた適切な配慮がなされている点から見ても、大日本図書が適していると考える。

委員

大日本図書の教科書は大変わかりやすく、子供が取り組みやすいつくりとなっています。例えば、第一に文章は改行方法が工夫されている上に、非常にわかりやすい行間の表現はとても読みやすいものとなっている。また、一単元で学ぶべきことが、文章として見開き左ページに、右のページには挿絵やグラフ、データなどの資料がわかりやすく並べられている。必要に応じて、ミニ知識による補足説明もページ下に加えられている。また、記入する部分には、「キーワード」が掲載され、子供の理解を一助となっている。どの子供にでも理解しやすく、馴染みやすいつくりとなっていることから、大日本図書がよいと思う。

安藤教育長

保健体育の教科書について、協議会が選定した教科書案とおりの採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

保健体育の教科書について、大日本図書を採択することを宣言。

安藤教育長

技術・家庭科【技術分野】の教科書について、協議会が選定した教科書は、開隆堂出版であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

開隆堂の教科書は、全体的に図や表の大きさや文字量、写真の枚数等の情報量が適量であると考え。そのため、各ページがすっきりして見やすくなっている。また、小項目の冒頭に設けられた導入課題（調べてみよう「製品では、木材などの材料がどのように使い分けられているのだろうか。」）を通して生徒が授業へ積極的に取り組み、主体的な学びができるよう配慮されている。さらに、適所に配置してある「実験」や「課題」などの活動を通し、他者との関わり合いをもちながら技術の理解を深めることができるよう工夫されている。こうした点から、開隆堂が適切だと感じている。

委員

開隆堂の教科書では、各学習領域の最後に実習例が豊富に紹介されている。従来のような製作のみが目的ではなく、「製作の目的」、プログラミング的思考の育成を踏まえた「実習の流れ」、「技術の見方・考え方」を定着させるための「社会とのつながり」、製

作の着目点や振り返る視点、問題解決を図る上でのヒント等も豊富に掲載されており、技術を用いた問題解決能力を高めようとする意図がうかがえる。こうした点から、開隆堂がよりよいと考える。

安藤教育長

技術・家庭科【技術分野】の教科書について、協議会が選定した教科書案とおりに採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

技術・家庭科【技術分野】の教科書について、開隆堂出版を採択することを宣言。

安藤教育長

技術・家庭科【家庭分野】の教科書について、協議会が選定した教科書は、開隆堂出版であることを説明し、委員の意見を求める。開隆堂は、「家庭科分野におけるガイダンス」に9ページ割いており、新しい学習指導要領に沿った学習の仕方が分かりやすく解説してある。特に、「生活の見方・考え方」の解説ページは、挿絵も活用して、どのような視点で家庭科を学習していくのか一目で分かるようになっている。持続可能な社会の視点については、国連SDGsについても説明があり、家庭科での学びが今後の社会の在り方につながっていくことが示されている。こうした点から、開隆堂が適していると思う。

委員

委員

開隆堂は、各ページの上部に他教科との関連について記載があり、教科・領域横断的な学習に結びつくよう工夫してある。例えば、「7 持続可能な食生活」では、青い教科書マークの横に、社会／地理的分野「世界と日本の結びつき」、理科／第2分野「自然環境の保全」と書かれ、生徒が学んだことを想起したり、他の学習とのつながりに気付いて考えを深めたりすることができる。家庭科には、総合的な学習に結びつく題材も多くあり、より主体的で深い学びにつながる工夫されている開隆堂が適していると考え

安藤教育長

技術・家庭科【家庭分野】の教科書について、協議会が選定した教科書案とおりに採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

技術・家庭科【家庭分野】の教科書について、開隆堂出版を採択することを宣言。

安藤教育長

英語の教科書について、協議会が選定した教科書は、東京書籍であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

東京書籍の教科書には、各ユニットに「Read and Think」と呼ばれる長文を読む活動が設けられている。そこでは、「文章の大まかな内容をつかむ問題」、「詳細な内容について答える問題」が掲載されており、生徒は段階的に読みの力を育むことができる。また、

問題は、日本語で書かれているものが多く、無理なく取り組めるようになっている。さらに、そのあとの活動では、文の内容をもとに自分の考えを発信する活動も設けられている。そのため、生徒は文章を読んで内容を理解するだけでなく、読んだ内容をもとにしなが、書く力やコミュニケーション能力の育成を図ることもできる。このような点から考えると東京書籍の教科書が適していると思う。

委員

東京書籍の教科書は、QRコードの内容が充実している。タブレットでQRコードを読み取れば、教科書の単語や本文の発音を聞くことができる。本文の音声を再生する際は、文字も出てくるので、教科書が手元になくても正しい発音を聞いたり、家庭学習の音読練習に活用したりすることもできる。また、QRコンテンツの「Preview」を選択すると、各単元の導入となるアニメーション動画を見ることができる。アニメーションの動きがきめ細かくつくられているため、生徒はアニメーションを手掛かりに登場人物の対話内容を推測しながら英語を理解していくことができる。また、小中連携の観点でも東京書籍は優れている。例えば、1年生の教科書では、小学校で学習した単語や表現を用いた文章が多く掲載されている。入門期の生徒たちにとって、小学校の既習内容から中学校の学習内容へと段階的に学びを進めていくことができる。東京書籍がよいかと考える。

安藤教育長

英語の教科書について、協議会が選定した教科書案とおり採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

英語の教科書について、東京書籍を採択することを宣言。

安藤教育長

道徳の教科書について、協議会が選定した教科書は、光村図書であることを説明し、委員の意見を求める。

委員

光村図書では、各学年で普段の生活で起こりうる問題を教材として取り入れており、生徒たちが自分事として授業を進めることができるようになっていると思う。また、主人公の考えと相反する考えの人物を登場させて、多面的多角的に考えることができる教材が充実している。全学年で「いじめを許さない心について考える」という非常に重要なテーマの教材が1学期に取り扱われている。年度初め、クラス替えや進級により、生徒たちが友達関係を構築しようとする時期に、相手の気持ちを推察し他者を思いやることは、人格を形成していく上で大切な要素となる。岡崎の子供たちの心を育てるには、光村図書がよいかと考える。

委員

光村図書は、「自分の考えをもち、深める」ことを大切にしている印象を受けた。その理由として、教材を通して何を考えていくかという大きな「めあて」を吹き出しにして示している。また、教

材に関わる発問を準備し、生徒一人一人が考えをもち、議論する授業展開ができる工夫が施してある。また、「見方を変えて」にある発問では、別の視点や立場について考えるきっかけとなり、議論を深めることができる。中学生ということもあり、これらの手立て全てを教材の後ろに集めて記載し、生徒が主体的に考え、深める授業を大切にしていることが伝わる。年間35時間すべての授業で高い質の授業を実現するためにも光村図書が適していると思う。

安藤教育長

道徳の教科書について、協議会が選定した教科書案とおりに採択することについて採決（挙手を求める）。

挙手（全員）

安藤教育長

道徳の教科書について、光村図書を採択することを宣言。

安藤教育長

令和3年度に使用する全ての小中学校教科用図書の採択が終了したことを宣言。

安藤教育長

第13号議案の審議が終了したため、上原委員の入室を許可する。
（上原委員入室）

安藤教育長

上原委員へ第13号議案について、原案のとおり可決したことを報告。

岡崎市教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、ここに署名する。

令和2年8月25日

教育委員会教育長 安藤 直哉

教育長職務代理者 福應 謙一

【参考】

1 発行者名は以下のように略称にて記載する。

発 行 者	略 称
東京書籍株式会社	東 書
大日本図書株式会社	大日本
教育図書株式会社	教 図
開隆堂出版株式会社	開隆堂
学校図書株式会社	学 図
株式会社三省堂	三省堂
教育出版株式会社	教 出
株式会社教育芸術社	教 芸
光村図書出版株式会社	光 村
株式会社帝国書院	帝 国
株式会社大修館書店	大修館
株式会社新興出版社啓林館	啓林館
株式会社山川出版社	山 川
数研出版株式会社	数 研
日本文教出版株式会社	日 文
株式会社学研教育みらい	学 研
株式会社自由社	自由社
株式会社育鵬社	育鵬社
株式会社学び舎	学び舎
廣濟堂あかつき株式会社	廣あかつき
日本教科書株式会社	日 科